

アメリカってどんな国



「当別町人材育成基金活用事業」に応募した町内在住の3人の高校生が、12月22日に日本を出発、アメリカ西海岸、ロサンゼルスで15泊のホームステイと語学研修を体験しました。

参加したのは(写真左から)小原駿介さん、桑原唯さん、(いずれも高校1年生)と山川紅葉さん(高校2年生)の3人。全国から集まった10人の中・高校生とともに、ロサンゼルス郊外のシトラスカレッジという学校で、午前中は英語の語学授業を受け、午後からは施設の見学、そして16日間、アメリカの家族とホームステイで交流しました。3人の思い出を語ってもらいました。

▶どんな語学研修だったのですか？



山川さん 始めにクラス分けするための簡単なテストがあり、翌日からは、韓国やコロンビア人も含む8人ごとのクラスに分けられました。主にテキストを使っただけの授業でしたが、連想する単語を英語で当てるゲームや、映画を見てストーリーを要約したり、自国のマナーについてのグループ討議など、クラスで違いもありました。

授業時間内でもトイレは自由など、雰囲気は日本とはぜんぜん違いました。



教室の様子

桑原さん 午後からは学校から出てロサンゼルス市内の施設など見学しました。週末はディズニーランド、ハリウッド、ダウンタウン、ビバリーヒルズなど、クラスによって行き先も違いましたが、観光も味わえました。

▶ホームステイは家族とどんな話しを？

小原さん はじめに宗教について聞かれました。神道と仏教について説明しようとしたんですが、信仰を大事にしていると思いました。あと、津波や原発事故について話題になると思い、写真など持っていきましたが、役に立ちました。政治の話も好きでした。



▶ホームステイでは何をご馳走になりましたか？

小原さん ホストファミリーがメキシコ人だったので、タコスが出てきました。お世辞抜きで感動しました。そうしたら帰りの飛行機で食べなさいとたくさん渡されました。



アメリカでメキシコ料理も



桑原さん 私のホストファミリーは子供4人と両親の6人家族で、忙しいながらも食事はしっかり作ってくれました。朝からパンケーキ4枚など、量が多く、美味しかったです。



ロサンゼルスは素敵な街並み
日中は暖かく 26°Cの日も・・・



ハリウッドで会ったマリリンモンロー(人形)



国際色あふれるクラスメイト達

▶クリスマスはどう過ごしましたか？

山川さん ファミリーと一緒にケーキを作りました。チョコや生クリームをたっぷり使うのでびっくりしました。



桑原さん クリスマスイブの夜はカウントダウンが始まり、日本の元旦のようでした。真夜中0時になるとプレゼントを開けるんですね。

▶アメリカの国をどう思いましたか？

山川さん ずいぶん大雑把な国、待ち合わせの時間にも私たちは5分前には集まっているのに、時間にはルーズ、いやおおらかなのかな。

小原さん スーパーに行って一緒に買い物も経験しましたが、見ず知らずの人とも会話しているんです。それがとても自然で社交的と思いました。誰とでもコミュニケーションできることがすごい。

▶語学研修では自信はついた？

桑原さん 会話は、文法にこだわるとなかなかできないということ。カタコトでも発することでコミュニケーションがとれた。文法は二の次かな。

小原さん

英語でホストファミリーとすっかり仲良くなれましたが、言いたいことが全部は伝わらなくて、もどかしく



悲しい気持ちになったことも。そして帰国の日には別れるのがとても辛かった。

最後に、近隣の市町村ではこうした助成がないそうです。だから学校の友達からはうらやましがられました。これからはもっと勉強しようと思いました。

当別町人材育成基金活用事業

当別町では、活力と魅力に満ちたまちづくりを推進する人材を育成するため、当別町に1年以上在住または勤務している者、これらの者で構成する団体に、自らが考え行う地域づくり事業に対して補助金の交付をしています。

今回の高校生短期留学ホームステイ語学研修のほか、自己形成のための調査研修事業、スポーツや文化・経済活動による交流事業、地域の活性化や文化・教養を高めるための講演会やイベントに対しても支援しています。

▲問合せ 当別町企画部企画課 ☎ 23 - 3042